

青少年団体等を顕彰しました

青少年育成茨城県民会議は、地域で地道に優れた活動を展開している青少年団体・グループ及び青少年、青少年育成団体・グループ及び青少年育成指導者を顕彰しています。

本年度は、顕彰要綱を大幅に改正し、顕彰制度の充実を図り、次の団体・個人の方々を顕彰しました。

受賞された方々の今後のご活躍を期待するとともに、県内にこうした活動が広がっていくことを願っています。

	団体名(代表者)/氏名	所在地/住所	主な活動内容(推薦団体)
青少年団体・グループ	茨城町ひぬま高校生会 (川又さおり)	茨城町	町教育委員会が実行委員会を組織し開催している「里山で暮らそうわんぱくキッズ隊」や町青年四季の会(青年会)などが毎年実施している「サマーキャンプ」などに参加し、子どもたちを積極的にリードするなど子どもたちの模範となっている。また、単位子ども会のクリスマス会や歓迎会へ出向き、レクリエーションの指導を行っている。(青少年育成茨城町民会議)
	国際ロータリー第2820地区 ロータリーアクト(潮田 武彦)	筑西市	当ロータリーアクトは県内に8つあり、「筑波大留学生交流会」や「真壁ひなまつり」「霞ヶ浦フェスティバル」などへ参加協力するとともに、児童福祉施設における子どもとの交流会の実施や地域における清掃活動など、「奉仕の理想」を実践し世界の親善と平和のための活動を行っている。(国際ロータリー第2820地区)
	羽生ばやし保存会 (山中日出夫)	行方市	当保存会は、1970年に設立し、76年に「羽生ばやし」が玉造町指定無形郷土文化財登録になってからは、鹿行地区子どもふれあい祭や町の文化祭、ふれあいまつりなどに参加して日頃の活動を披露し地域文化の向上に寄与している。また、老人ホーム等への慰問活動や保育園での披露など幅広い活動を行っている。(青少年育成玉造町民会議)
	日立ヤングリーダーズクラブ (後藤 洗介)	日立市	毎年実施している国内親善都市である群馬県桐生市との交歓会に子ども会小学生リーダーの引率を行うとともに単位子ども会のレクリエーション指導を行っている。また、本年度実施した「青少年いきいきフェスタ」では高校生実行委員会の中心メンバーとして活躍しイベントを成功させた。(日立市青少年育成推進会議)
	水戸女子高等学校 インターアクトクラブ(益子 汐莉)	水戸市	当インターアクトクラブは、「奉仕活動の実践」と「国際理解を図ること」を目標に、週1回病院で高齢者の介護や保育園での保育ボランティア活動、養護学校生徒との交流などの奉仕活動を行っている。また、国際ボランティア活動を実践し、本年度は、タイとラオスの子どもたちの識字率向上のために「絵本と手づくりのエプロンシアター」を贈っている。(茨城県高等学校長協会)
青少年育成団体・グループ・青少年育成指導者	西小はやしの会(高野 貫一)	行方市	玉造西小学校区内に伝わる「浜ばやし」を主に伝承することを目的に設立した当会は、敬老会や町の催し物、地域のお祭りに参加し、日頃の活動の成果を発表している。また、社会福祉施設等へ慰問活動も行っている。その活動は、地域住民からも高い評価を得ており、地域の文化と福祉の向上に寄与している。(青少年育成玉造町民会議)
	中川 昭夫	ひたちなか市	1984年、少年少女発明クラブ設立以来、指導員として今日まで、子どもたちに道具の使い方や工作の基本を教えるとともに、実技を通して理科や科学の面白さを伝え、新しいことに積極的にチャレンジする意欲を育てている。(ひたちなか市市民憲章推進協議会青少年部会)
	永井 弘三	阿見町	1979年、阿見ヤンキース野球スポーツ少年団の設立以来、監督として少年野球の健全育成と技術の向上等に貢献している。また、野球スポーツ少年団の組織づくりと町内5団での企画、大会運営等に積極的に取り組み、近隣市町村との少年同士の交流を深めている。(青少年育成阿見町民会議)
	間宮 真知子	取手市	1978年、取手市にガールスカウト茨城県支部第19団が発団して以来、団委員長となり、ガールスカウト活動の指導者として献身的に取り組み、地域に密着した活動に尽力している。また、県支部においては、プログラム委員長、県支部副支部長を歴任している。一方、取手市においては、公民館運営審議会副委員長、レディースフォーラム会長等としても尽力している。(ガールスカウト日本連盟茨城県支部)
	渡辺 忠夫	龍ヶ崎市	1990年より、市民会議北文間支部会員となり、以来、今日まで、率先して夕方の通学路における立哨活動や巡回パトロールを行っている。94年より市民会議北文間支部副支部長に就任し、支部内の青少年の非行防止に尽力し、03年から市民会議副会長として、市民会議の事業計画立案に携わり積極的に事業推進に寄与している。(青少年育成龍ヶ崎市民会議)

感謝状を贈呈しました

市村 美穂・萩原はづき・岡田 愛・松林 映美

(茨城県立取手第二高等学校 3年生)

青少年のための環境浄化フォーラムに参画し、「IT安全教室」の出演を通して、携帯電話やインターネットの利用に係るトラブル事例、対処法を参加者に的確に伝え、青少年を有害環境から守る取り組みの推進に多大な貢献をした。

日立市青少年育成推進会議(会長 石川 美枝子)

青少年いきいきフェスタの開催にあたり、市内、近隣の高校生で組織する実行委員会を立ち上げ、関係機関・団体、中学校、高等学校と連携、協働してイベントを開催し、青少年の社会性の涵養とリーダー養成、人材発掘等に多大な貢献をした。

国際ロータリー第2820地区(ガバナー 萩原 亢雄)

本会議の青少年健全育成県民運動に深く理解を示し、ロータリー生誕100周年を記念して多額の活動助成金を寄せられ、健全な家庭づくり、青少年を有害環境から守る取り組みの推進に多大な貢献をした。

ライオンズクラブ国際協会333-B地区(ガバナー 柴 利夫)

当会議が進めている行政機関、市町村民会議、育成団体等との連携、協働による育成運動展開のため、多額の活動助成金を寄せられ、また、本会議事業への参画など県民運動の推進に多大な貢献をした。

地域指導者養成事業

地域に根ざした青少年育成活動を展開するため、平成17年7月14日(木)~15日(金)つくばグランドホテルで「青少年育成市町村民会議会長・事務局長等研修会」を開催し、「ニート」や「ひきこもり」の支援策について研究協議を行いました。また、青少年育成活動体制の基盤づくりとなる「市町村民会議の統合整備」について情報交換を行いました。

青少年心理アドバイザー派遣事業

大人世代と青少年世代には考え方やライフスタイルにギャップが生じてきています。

青少年の理解と接し方を普及するため、青少年心理専門家の大学の先生や県スクールカウンセラーなど23名の方に登録をしていただき、市町村民会議や青少年相談員会、民生委員児童委員協議会などの研修会へ講師として出向いていただきました。

アドバイザーを派遣しますので、詳しくは青少年育成茨城県民会議にお問い合わせください。



ロールプレイでの研修